

令和3年沼津市教育委員会 第5回定例会会議録

1 日 時 令和3年5月11日(火)
午後3時30分～午後4時11分

2 場 所 市庁舎3階 第1・2委員会室

3 日 程

(1) 開会

(2) 会議録署名人の指名(土屋委員 重光委員)

(3) 議案

議第27号 沼津市図書館条例施行規則の一部改正について

(4) 協議事項

なし

(5) 報告事項

報告事項1 令和3年度沼津市民大学の開催と受講者募集について

(6) その他

1) 沼津市教育委員会事務点検・評価について

2) 令和3年度第40回沼津市わたしの主張大会について

4 出席者等

教育長 奥村篤、教育長職務代理者 三好勝晴、委員 重光純、委員 土屋葉子、
委員 川口浩史、教育次長 山本貴史、教育企画課長 矢田陽子、
生涯学習課長兼ゆめとびら舟山所長 後藤寿代、図書館事務長 勝又恵三、
調整担当・教育企画課課長補佐 宇佐美利香、教育企画課指導主事 栗原克弥、
教育企画課指導主事 松岡ミュキ、教育企画課指導主事 岩本智明、教育企画課主任 藁科奏

5 会議内容

(1) 開会

奥村教育長が午後3時30分開会を宣言する。

奥村教育長 4月29日からのゴールデンウィークは、いかがであったか。昨年はコロナ禍であり、GWを我慢のウィークと呼んだ。今年は、5月1日に牧之原市で竜巻が発生し、1日にして地域の様子が激変した。その後も雨が降る中で修繕が行われたと聞いている。沼津市内においても、下香貫周辺が突風の被害を受け、市長部局では被害の調査やゴミ処理等の対応に追われたゴールデンウィークであった。そのような中大変恐縮ではあるが、私自身は、購入したばかりの掃除機を使い家の掃除をする日々であり、家事を頑張ったウィークとなった。一方、学校現場では、進学や進級によるクラス替えなど、環境の変化があってもない5月は、子供にとってもストレスが溜まりやすい時期であり、自殺や不登校が増える傾向にある。新型コロナウイルス感染症により、外出ができずに巣ごもり生活を余儀なくされることで、保護者との関係に行

き詰まり家庭不和が生じ、家出をする恐れがある。このような新たなストレス要因もあり、大型連休明けの子供たちの様子には注意が必要である。新年度が始まり環境が変化し、気が張っているため1か月は頑張れたが、連休に入って脱力した時、自分が苦しいということに気が付くこともあるようだ。ストレスサインとしては、体調を崩す、登校ができなくなる、手洗いが多くなりトイレやお風呂に何度も入る、こだわり感が強くなる、兄弟やペットをいじめる等の兆候が見られると言われている。専門家は、今年はより多くの子供からSOSが出るのではないかと警鐘を鳴らしている。沼津市内の各校の子供たちについては、「たくさんの薬を飲んでしまった」、「今の状況から逃げ出したい」、「学校に行きたくない」という相談が青少年教育センターに数件入っていると伺っている。今後もアンテナを高くし、子供たちが発するサインを見逃さないようにと、各学校にお願いしたいと考えている。

(2) 会議録署名人の指名

奥村教育長より、会議録署名人に土屋委員、重光委員を指名する。

奥村教育長より、本日の会議は一部非公開とすることを委員に諮り、了承される。

傍聴人 0人

<議案>

奥村教育長 日程(3)議案である。

議第27号 沼津市図書館条例施行規則の一部改正について

<令和3年7月1日より、沼津市立図書館の閉館時間を火曜日から金曜日
まで19時に統一する改正について>

(図書館事務長 資料に基づき説明)

奥村教育長 説明が終わった。金曜日の閉館時間を21時から19時に変更し、火曜日から金曜日の平日に関して、開館時間を9時30分から19時に統一するということがあった。本件に対する御質問、御意見等はいかがか。

重光委員 内容に異議はないが、改正の目的に、インターネット環境の普及が挙げられている。インターネット環境の普及が開館時間の変更にもどのように関係するか教えていただきたい。

図書館事務長 平成5年の図書館開館当初は、まだインターネット環境や電子書籍が普及していなかった。しかし現在は、インターネット環境が普及したため、家庭でインターネットに費やす時間が増加し、図書館利用者が減少していると考えられる。もちろん、図書館利用者数を増やしていかなければならないが、実際に、図書館利用者数、図書の貸出数は減少している。開館当時の金曜日は、21時までの利用者も相当な数であった。本図書館は、視聴覚資料も充実しているため、それらの貸出数もかなり多かったという事実がある。現在、需要が多かった視聴覚資料の多くは、インターネットを使い自宅で見られるようになったため、図書館への足が遠のいていると推測する。このような現状から、インターネット環境の普及を開館時間変更の一因と考えている。

教育次長 補足させていただく。以前は、図書館の利用方法として調べ物が多かったが、現在は、インターネット環境の普及により、調べ物はスマートフォンで行う時代となった。市民の生活スタイルの変化やニーズに合わせて、図書館の開館時間の変更を行いたい。

奥村教育長 ほかにいかがか。御意見も尽きたのでお諮りする。議第27号 沼津市図書館条例施行規則の一部改正について、原案のとおり可決するということがよいか。

各委員 異議なし。

奥村教育長 異議なしと認める。議第27号については、原案のとおり決する。

<協 議>

奥村教育長 日程（4）協議事項は、本日は案件なし。

報告事項1については公表前の事項が含まれているため当日は非公開としたが、公開できることとなったため公開する。

<報 告>

奥村教育長 それでは、日程（5）報告事項に入る。

報告事項1 令和3年度沼津市民大学の開催と受講者募集について

<「豊かな未来をひらく」をメインテーマに様々な分野から一流の講師を招く沼津市民大学の今年度の開催と受講者募集について>
(生涯学習課長 資料に基づき説明)

奥村教育長 説明が終わったが、本件に対する御質問、御意見はあるか。
会場は沼津市民文化センター大ホールであるが、収容人数1,500名に対し、最大で、その半分の750人を募集定員としている。座席は指定席か。

生涯学習課長 指定席とする。事前に座れる座席に印をつけておく。受講者には毎回受付でカードを配布し、受講者番号と座席番号を記入の上提出していただくことで、誰がどこに座ったかを把握する予定である。

奥村教育長 指定席とは、座ることができる席とできない席があるという意味か。誰がどこに座るのかは、こちらから指定しないということによいか。

生涯学習課長 そうである。こちらで、誰がどこに座るという指定はしない。座ることができる座席には印をつけておき、受講者が、受講者番号と座席番号を記入したカードを提出することで、誰がどこに座ったかを把握できるようにする。

奥村教育長 そのカードは受付で配布し、必要事項記入後に回収するのか。

生涯学習課長 そうである。

奥村教育長 つまり、どこに座るかは早い者順か。

重光委員 そうなる。座席を指定してしまうと、万が一、前方の座席に欠席者が集中してしまった場合、講師が寂しい思いをしてしまう。

奥村教育長 特別講義の時は、受講者が前方の座席に集中する可能性が高いと考えられる。

土屋委員 受講者の座席の把握は、新型コロナウイルス感染症のクラスターの発生に備えた必要な措置であると考え。ところで、駐車場の数は十分であるか。以前はキラメッセでの開催であったため、駐車場は十分確保できていた。しかし、今回は会場が市民文化センターであるため、心配している。

生涯学習課長 駐車場の不足は、懸念材料である。今回は、募集定員を少しでも多くするために、収容定員の多い市民文化センターとした。大変申し訳ないが、受講者には、できるだけ公共交通機関の利用をお願いする予定である。

奥村教育長 駐車台数は、どのぐらい確保できているのか。

生涯学習課長 現在は、数の確認ができていない。この後すぐに確認する。申し訳ない。

奥村教育長 確かに、駐車場の数は心配である。できる限り公共交通機関を使っただくよう、呼び掛けていただきたい。

ほかにあるか。

三好委員 質問ではなく、感想を述べさせていただく。沼津市民大学は、毎年素晴らしい講師を招聘し、応募者も多いと聞いている。第1回が7月23日なので、高齢者への新型コロナウイルス感染症のワクチン接種が早急に進むのを願うばかりである。沼津市として、いつまでに接種を終えると宣言をすることは難しいが、今後、こういった事業を計画どおりに行っていくかは、ワクチン接種にかかっていると考え。これだけの講師を全9回揃えているので、沼津市としてもっとこの事業をアピールしてほしい。コロナに邪魔されることなく、多くの市民が素晴らしい講師陣の話を聞けることを願う。

土屋委員 私自身もこれまでずっと拝聴させていただいているが、沼津市民大学は、継続受講している方が多い。実を言うと、御高齢の受講者が多い印象である。若い方々にも是非たくさん受講していただきたい。人気が高く、応募しても受講できないこともあると伺っているが、これだけ素晴らしい講師の方々をお迎えしているので、市民の皆さんが満足のいく形で開催していただきたい。競争率が増々上がりそうであるが、私自身も大変楽しみにしている。不満が出ない形でやっていただけたら嬉しい。よろしくお願したい。

三好委員 ワクチン接種が早急に進んだ場合、受講者数の上限を上げることも考えているか。全9回500人の定員を急遽増やすことは難しいと思うが、第2回の養老孟司さんや第8回の五郎丸歩さんの特別講義は、追加募集があるのか。

生涯学習課長 7月中に、65歳以上の方へワクチン接種が行われる予定だが、それ以外の方は接種できない状況である。よって、今回は、最大750人という定員のまま追加募集を行わないこととする。

奥村教育長 6月22日が募集締め切りであり、それ以後は追加募集しないということか。

生涯学習課長 そうである。

三好委員 特別講義の締め切りも同様であるため、追加募集が難しいことは理解できる。

重光委員 私も沼津市民大学を受講したい思いがあるが、子育て中であり、なかなか自分一人で出かける時間が取れない。新型コロナウイルス感染症の蔓延により、中止の可能性もあるということだが、こういった御時世なので、Web上での開催も検討していただきたい。会場でリアルとオンラインの併用をするか、Zoomウェビナーを活用してWeb上で受講できるようにすることも可能である。最近、各所でオンラインが活用されており、医師会等の研修もこのところZoom

- で行われているようである。多人数が集まることで中止を検討するなら、中止をせずに済むぐらいに人数を絞るか、Web上での実施も選択肢としてあると考える。
- 生涯学習課長 あらゆる方向性を検討していく。オンライン開催、受講者数の縮小も視野に入れて対応していく。
- 奥村教育長 講師が当日来られないことも考えられる。その場合でも対応できる体制づくりが求められる。
- 三好委員 受講者も年配の方が多いので心配である。
- 奥村教育長 講師の方々の御都合が最優先ではあるが、開催期間が短期間に凝縮されているので、受講者の体力的な面が心配である。もう少し、ゆとりをもった日程であると参加しやすいかもしれない。
- 重光委員 決して高齢者のみが対象者ではない。結果的に年配の方が多くなっている。
- 奥村教育長 日程を見ると、若い方々にとっては、沼津市民大学への参加と家族での予定、夏休みの選択肢としてどちらを優先して選ぶのかということになる。もう少し開催日の間隔が空いていると参加しやすいと思われる。
- 川口委員 そのほか、いかがか。
- 重光委員と同意見であり、Web上での開催も検討願いたい。ちなみに、昨年度の実績はどうだったのか。全て開催できたのか。
- 生涯学習課長 昨年度は、全て中止した。
- 奥村教育長 それもあり、昨年度と同じことにはならないようにと考えている。
- 川口委員 沼津市民大学は、豪華な講師陣であるため、楽しみにしている方は多い。全て中止になると、受講者は本当にかっかりする。そうならないように、会場で行えない場合は、YouTubeでアーカイブを流すなど対応してほしい。
- 奥村教育長 申込みの時点で、そのような対応ができるようにしていく必要がある。申込者のみが視聴できる環境を整えていただきたい。
- 生涯学習課長 講師によっては、配信等はできないとおっしゃる方もいる。
- 奥村教育長 全ての講師で配信等の対応はとれないかもしれないが、受講者が楽しみにしているので、できる限りのことをしていただきたい。
- ほかはないようであれば、本件は報告を受けたということで御了承願う。

<その他>

- 奥村教育長 日程（6）その他、何かあるか。

沼津市教育委員会事務点検・評価について

<教育委員会関係各課の自己評価に対し、有識者から成る評価委員会が意見を加える形で、事務の管理及び執行の状況についての点検・評価を行う事務点検・評価について>

（教育企画課長 資料に基づき説明）

- 奥村教育長 説明が終わった。本件に対する御質問、御意見はあるか。
- 平成20年度以降、毎年事務点検・評価を行っている。PDCAサイクルで、次年度に生かすために前年度の事務点検・評価を行う。先程、生涯学習課長が報告した沼津市民大学のように、昨年度は、計画していたものが新型コロナウイルス

- イルス感染症のため中止せざるを得なかった事業も多かった。そのような事業の評価はどうするのか。
- 教育企画課長 現在、各課と事業評価のヒアリングを行っている。新型コロナウイルス感染症により、全く事業を行うことができなかった事業もある。各課では、そのような状況でも自己評価をしているが、不可抗力により事業が実施できなかった場合、評価をすること自体が不適切であると考え。それらを報告書にどのような表現で記載するかは検討させていただきたい。
- 奥村教育長 先程、重光委員や川口委員から御指摘があったように、昨年度はできなかったことを、その反省を踏まえ今年度はどのような形で行うかにつなげることが、この事務点検・評価の意義である。
- 三好委員 現在は、ICTが注目される世の中である。昨年度の事務点検・評価報告書を見ても、沼津市の教育現場の中で、ICTの活用がどれだけ進んでいるのかわかりにくい。点検項目としてICTの活用を大きく取り上げ、点検・評価すべきである。そのぐらいやらなければ推進しないのではないか。この事務点検・評価は、自分達がやってきたことを評価し、次にどう改善して進めていくかを考えるためのものである。ICTの活用という項目を別立てすることで、意識が高まると考える。次回以降、そのような視点で評価項目を改善してはいかがか。
- 教育企画課長 事務点検・評価は、沼津市教育基本構想実施計画に則って行われている。令和3年3月に、新しい沼津市教育基本構想が策定された。それにより実施計画も今年度より更新され新しくスタートしているため、今後どのように事務点検・評価を行っていくか、現在課内で検討中である。頂いた御意見を参考にさせていただきたい。これまでのように細かな評価項目ではなく、重点的な事業や進捗管理が必要な事業に絞って行っていくことを考えている。
- 奥村教育長 事務点検・評価をさらに推進していくために、点検項目にメリハリをつけることもありうる。今後、各課のヒアリング終了後、7月15日の教育委員会協議会で、御意見をいただく。よろしくお願ひしたい。
ほかにないようであれば、本件は報告を受けたということで御了承願う。

令和3年度第40回沼津市わたしの主張大会について

<6月12日に開催予定の沼津市わたしの主張大会は、来賓を招待せず、発表者の親族と関係者のみで感染症対策を講じた上で実施することについて>

(生涯学習課長より説明)

- 奥村教育長 沼津市わたしの主張大会には、例年教育委員の皆さんにも来賓として参加していただいている。中学生の日頃抱えている思いや考えを聞いていただき、好評を得ているが、発表の様子を大会終了後に、見ていただけるのか。
- 生涯学習課長 7月上旬に大会のビデオをYouTubeにアップするので、後日連絡させていただく。是非、御覧いただきたい。
- 奥村教育長 周知をお願いする。教育委員の皆さんには大変申し訳ないが、今回は、そのような形をお願いする。
よろしいか。ほかになければ、本件は報告を受けたということで御了承願う。
ほかにいかがか。

ほかになければ、本日の定例会を終了する。

午後4時11分 閉会